

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広  
報

# よなご

3

2026  
March  
No.252

multilingual translation >

You can get information about  
Yonago on your smartphone.



音声読み上げ・多言語翻訳は「カタログポケット」で

特集

## 安心して楽しい学校生活のために

ようほしょう  
～つながる幼保小～



小学校入学後、学校生活になじめない…。こうした状況を少しでも減らし、すべての子どもたちが安心して楽しい学校生活を送れるように、市では園と小学校をつなぐ「ようほし幼保小連携」に取り組んでいます。今回は、その取り組み内容をご紹介します。  
 問 こども政策課 (☎ 23-5178)、学校教育課 (☎ 23-5432)

## 入学前後の「つながり」で子どもを支える



市では、「小1プロブレム」を解消し、子どもが安心して学校生活をスタートし、生き生きと学びに向かえるよう、幼稚園・保育園・認定こども園などの園と小学校が連携する「ようほし幼保小連携」の取り組みを進めています。

小学校生活はゼロからのスタートではなく、園での「遊び」を通じた学びを、小学校以降の学びにつなげることが大切です。特に、5歳児から小学校1年生の2年間を、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期として、取り組みの充実を図っています。

### 「小1プロブレム」とは

小学校に入学すると、子どもの毎日は大きく変わります。新しい友達や先生との出会いがあり、授業が始まると机に向かって学ぶ時間が増えていきます。このように入学に伴う環境の変化により、子どもが一時的に戸惑う状態は、「小1プロブレム」と呼ばれています。

# 安心して楽しい学校生活のために

つながる幼保小ようほし

啓成小1年生と東こども園年長児の交流の様子



## 送る園と迎える学校に聞きました！

入学前後の子どもたちをどのように支えているか、  
年長児と1年生を担当する先生にお話を聞きました。

### 「一緒にやってみよう」を大切に

園では、子どもたちが入学を意識し始める年長の秋ごろから、「自分のことは自分でできるようになる」ための声かけを増やしています。持ち物の管理や片付けなど、入学を見据えて最後まで自分でできるように意識しています。また、園の活動でひらがなに触れる機会も少しずつ取り入れ、「楽しそう」「やってみたい」と子どもが前向きな気持ちを持てるよう工夫しています。小学校との連携では、幼保小合同避難訓練の際に年長児が学校に行き、校内を見学しました。実際に見学することで、子どもたちが学校を身近に感じられる良い機会になったと思います。

入学に不安を感じる子どもには、まずは気持ちを受け止めて、「一緒にやってみよう」と声をかけながら、子どもが自信をもって一步を踏み出せるようにご家庭でも支えていただけたらと思います。



かいけ心正こども園  
年長児担任  
とや 鳥谷 みさき さん

### 園での育ちを学校につなげて

入学後は、あいさつや廊下の歩き方、トイレの使い方、姿勢、返事や発表の仕方など、学校生活の基本的なルールを確認することから始めます。「園ではどうしていたかな？」と子どもたちが身に付けてきたことを引き出しながら、「学校でも同じようにやってみよう」と声をかけ、指導につなげています。また、在校生も1年生との出会いを楽しみにしていて、入学後しばらくの間は、6年生が毎朝1年生の教室を訪れて、朝の準備の仕方などを優しく教えています。

4月は授業時間を短く区切ったり、体を動かす場面を取り入れたりしながら、少しずつ集中できる時間を延ばしていきます。小学校生活の最初の1年は、6年間の土台となる大切な時期です。変化に不安を感じる子どもや保護者の方に安心してもらえるよう、寄り添っていききたいと思います。

成実小学校  
1年生担任

ひざわ ももこ  
白澤 桃子 さん



## 入学前に小学校体験

### 米子市小学校オープンスクール

年長児とその保護者が、入学予定の小学校を見学したり、学校生活を体験したりすることで、小学校生活への期待を膨らませるとともに、入学前の不安を軽減できるよう、「米子市小学校オープンスクール」を実施しています。入学前から子ども同士や保護者同士、学校の教職員と交流するきっかけとなるよう、各小学校がプログラム内容を工夫して実施しています。

▶開催時期 毎年6月（全校で同じ日に開催します）

※令和8年度は6月4日（木）に開催

▶開催場所 市内の各小学校（全23校）

▶対象者 小学校入学を翌年に控えた子ども（年長児）と保護者

▶申込み 4月初旬ごろ、園を通じて案内します

☎ 学校教育課（☎ 23-5432、FAX 23-5413）



小学校の授業を体験



保護者の意見交換会



先生のお話を聞いて、勉強（授業体験）ができた。手を挙げて発表できて、うれしかった。お兄さんお姉さんに優しくしてもらえた。

学校の雰囲気が分かり、PTA（先輩保護者）の方のお話が聞けて、不安がなくなった。上の子どもがいても、参加してよかった。



## 園での経験を学校につなぐ



1年生担任を対象に研修

園での育ちを小学校の学習や生活につなげるため、入学式より前に、新1年生担任を対象に研修会を行います。また、市内すべての園と小学校の管理職を対象に連絡会も開催しています。



園と学校で情報共有

## 子どもの安心感を育む



入学前に授業を見学

入学前に1年生の授業を見学するなど、「1年生ってかっこいい！」と期待を高める取り組みを行っています。また、入学後には園の先生の学校訪問などで新1年生の安心感を育みます。



入学後に園の先生が学校を訪問

## TOPICS

# 家庭教育の支援に力を入れています

～みんなで育てる すくすく元気な よなごっこ！～

市では、子どもの基本的な生活習慣の形成や親子間の信頼関係づくりのため、「みんなで育てる すくすく元気な よなごっこ！」をキャッチフレーズに、地域、学校、保育、行政がみんなで家庭教育を支援しています。

具体的には、家庭で行っていただける取り組みとして、「そうだね運動」と「早寝・早起き・朝ごはん」の2つをおすすめしています。

### 「そうだね」で 心も元気 よなごっこ！

「そうだね運動」とは、子どもの方を向いて、子どもの話に耳を傾け、「そうだね」と共感する取り組みのことです。親子の信頼関係を育むために、子どもの話を肯定的に受け止めることはとても大切です。

子どもの話を大切な意見表明と考え、うなずいて受け入れることで、子どもは安心感を持ち、自己肯定感が育まれます。思春期に苦しいことや困難なことがあっても、自分の気持ちを大人に伝えられる力が身に付きます。

### 令和こそ 早寝、早起き、朝ごはん！

令和の時代も「早寝・早起き・朝ごはん」は子どもの健やかな成長に欠かせない大切な生活習慣です。夜更かしを避け、十分な睡眠をとり、朝日を浴びることで体内時計が整い、子どもの健全な発育が促されます。その結果、日中に「からだ」「あたま」「こころ」がしっかりと働くようになります。また、元気の源として毎日朝ごはんでエネルギーを補給する子どもほど、学力調査の得点が高い傾向にあります。朝からよく噛んで食べることは脳や消化器官を目覚めさせ、早寝早起きのリズムをつけることにもつながります。

## 元気な「よなごっこ」をみんなで育もう

次は2つに挑戦しませんか？

1 「そうだね」で 心も元気 よなごっこ！

●子どもの話を大切な意見表明と考え、うなずいて受け入れよう。  
子どもの話を肯定的に受け止めることで、  
子どもは安心感を持ち、自己肯定感が育まれます。  
思春期に、苦しいことや困難なことがあっても、  
自分の気持ちを大人に伝えられる力が身に付きます。

2 令和こそ 早寝、早起き、朝ごはん！

●早寝：夜ふかしをせず、しっかりと睡眠をとろう。  
●早起き：朝日を浴びて、こどものうちから体内時計を整えよう。  
●朝ごはん：元気の源として、朝からエネルギーを補給しよう。

みんなで育てる  
すくすく元気な  
よなごっこ！

市では、家庭教育に関する講演会を実施するなど、家庭教育の支援に力を入れています。

市ホームページでも取り組みについて紹介していますので、ぜひご確認ください。

☎ 子育て政策課  
(☎ 23-5439)

市子育て政策課  
ホームページ▶



## 入学に向けて 家庭でできることは？

入学前後の子どもたちの育ちを支えるためには、園や学校だけでなく、家庭での関わりも大きな力になります。とはいえ、特別なことをする必要はありません。

毎年6月のオープンスクールの際に、参加者の皆さんに紹介している「入学前に家庭で大切にしたいこと」では、日々の遊びや生活の中で、入学までに取り組むと良いこととして、

- ▶いろいろな遊びや体験を楽しむ
- ▶生活の中で文字や数、量や図形に親しむ
- ▶自分の思いを言葉で伝え、相手の話を聞く
- ▶自然に触れあい、動物や植物を大切にす
- ▶家族で一緒に過ごす時間を大切にする
- ▶小学校への入学を楽しみ気持ちで待つ
- ▶外でたくさん遊ぶ
- ▶返事やあいさつをする

などを例として挙げています。

それぞれの家庭のペースで、できるところから取り入れてみてはいかがでしょうか。

市学校教育課ホームページ「オープンスクール」ページ内に「入学までに家庭で大切にしたいこと」を掲載しています▶



子育てに悩みが…そんなときは

## 気になること・心配なこと ご相談ください

### ◆子ども総合相談窓口

(米子市子ども家庭センター)

子育てに関することで悩んだ時、どこに相談すればいいか迷った時は、子ども総合相談窓口をご利用ください。専門職員が連携しながら対応します。相談の内容に応じて情報提供や手続きの案内を行い、適切なサービスや支援機関へつなぎます。小さなことでもまずはご相談ください。

☎ 子ども相談課 子ども総合相談窓口

(米子市子ども家庭センター)

ふれあいの里1階(錦町1丁目139-3)

(☎ 23-5469、✉ kodomosoudan@city.yonago.lg.jp)